

全国初!

令和6年11月25日
北九州市環境局

太陽光パネルの大量廃棄問題を解決し 再エネ導入を加速する『北九州トライアングルモデル』を構築 地場企業と再エネ導入などの連携協定

北九州市(市長:武内 和久)、株式会社浜田(代表取締役:濱田篤介)及び株式会社新菱(代表取締役社長:土山正明)は、カーボンニュートラル及びサーキュラーエコノミーを目的とした連携協定を本日締結いたしました。

太陽光発電に関しては、さらなる導入拡大と大量廃棄問題への対応の2つが求められています。そこで、

- ①リユースパネルを率先導入する北九州市
- ②リユース・リサイクルビジネスのリーディングカンパニーであり、リユースパネルで発電事業(PPA)を実施する株式会社浜田
- ③エコタウンを代表するリサイクル企業で、リサイクル率 99%以上という高度な太陽光パネルリサイクルを実施する株式会社新菱

この3者がトライアングルとなって、太陽光パネルのリユース・リサイクルを官民一体で進め、太陽光発電の導入拡大と大量廃棄の課題を同時に解決する全国初の「太陽光発電の北九州トライアングルモデル」を構築します。

連携協定の内容

1 再生可能エネルギー導入推進

リユース太陽光パネルによる発電事業(PPA 事業)を通じた再生可能エネルギーの導入拡大

2 資源循環推進

太陽光パネルのリユースと高度なリサイクルによる資源循環

3 関連産業・分野の発展

北九州トライアングルモデルを通じて得られたノウハウの活用による関連産業・分野の発展

※詳しくは北九州市の説明資料をご参照ください。

【問合せ先】 環境局再生可能エネルギー導入推進課
村上(課長)、銭花(係長) 電話:093-582-2238